

いのちの地球

ダイオキシン  
の夏

THE SUMMER OF DIOXIN

わたし達の未来は  
わたし達の手で守るのよ!



1976年 北イタリアのセブソで  
実際に起こったダイオキシン汚染。

声の出演: 佐久間信子、倍賞千恵子 (特別出演) ほか

企画: 桂社三郎 / 原作: 藤見けい「ダイオキシンの降った街」より (岩崎書店・刊) / プロデューサー: 桂社三郎 / 脚本: 小出一巳、東永光代 / 監督: 出崎 哲 / 絵コンテ・キャラクターデザイン・監修補: 田分一節子 / 総作画監督: 清水憲彦 / アニメーション演出: 安斗谷孝平  
作画監督: 鈴木博一、都築由佳子、小澤 都 / クリエイティブ・プロデューサー: 小出一巳 / 美術監督: 長尾 仁 / 美術設定: 池 啓幸 / 音楽: 長谷川智樹 / 監製監督: 清水新樹 / 編集: 神谷信武 / 撮影監督: 安津雄 博 / 色彩設計: 小林 恵  
音響制作: (株) サック・プロモーション / 音響スタジオ: AMGスタジオ / 制作プロデューサー: 三上 敏男 / 制作デスク: 清田 健 / 音楽プロデューサー: 安東義史 / 音楽制作: カンパニーAZA / アニメーション制作: (株) マジックバス

監督: ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 / 製作 (有) コーポレージアル企画、(株) マジックバス、アムースMCX、XTV、アキオ、日本出版販売 (株) / 協力: 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議、青木益一訳 レイチェル・カーソン「沈黙の春」 (新潮文庫)  
参考文献: 宮田秀明の「ダイオキシンQ&A」 (合同出版)、みんなで考えようダイオキシン (毎日新聞大塚本社総合企画本部)

# ダイオキシンのせまる セブン少年探偵団の 勇気と友情の真実の物語!

いのちの地球

## ダイオキシンの夏



21世紀最大の問題は、環境破壊の現状から、いかにして生命が豊かに育まれる地球環境に変えていくか、ということではないでしょうか? 映画「いのちの地球・ダイオキシンの夏」は、1976年に北イタリアの街セブソの化学工場の爆発事故によって引き起こされた大規模なダイオキシン汚染をもとに、児童文学者の蓮見けいさんが書いた「ダイオキシンの降った街」(岩崎書店・刊)を原作として製作されました。

ダイオキシンとは、ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシンという塩素化合物の総称で、生物や人間にとってさまざまな病気をひきおこし、はては死に至らしめる猛毒であり、その持続性の強さ、解毒の方法がまだ見つかっていない点で、放射能汚染に匹敵します。近年、日本でもようやく焼却炉から排出されるダイオキシンの有害性が社会問題になってきましたが、このセブソ事件の当時、住民のほとんどはその恐ろしさ、その正体を知りませんでした。

爆発によって白い灰が降った直後から、鳥や犬・猫が死んでゆく異変を見た11歳の少年・少女たちは、工場の親会社の幹部たちがひた隠そうとする爆発の原因、飛散した灰に含まれる毒物の正体を突き止めようと立ち上がります。彼らは、「セブソ少年探偵団」を結成し、日本人のジャーナリスト安藤と力を合わせて真相を追求してゆきます。その正義感あふれる活躍と友情の物語を通じて、原爆を投下されたヒロシマの悲劇にも匹敵するダイオキシンの恐怖を描き、地球汚染への警鐘を鳴らす意欲作です。

プロデューサーは、阪神・淡路大震災をテーマにした長編アニメ「地球が動いた日」や、心に傷を負った少女の再生を描いた「ハッピーバースデー 命かがやく瞬間」を企画・製作をした桂柱三郎、監督は「蒼い記憶・満蒙開拓と少年たち」の出崎哲、絵コンテ、キャラクターデザインに四分一節子、音楽は、映画・テレビで活躍している長谷川智樹が担当。声優は、主演のジュリアには、「ハッピーバースデー 命かがやく瞬間」に引き続き、佐久間信子。また、今回、倍賞千恵子が特別出演しています。

尚、この映画の製作にあたってダイオキシン・環境ホルモン国民会議(代表/立川涼)が監修の立場で参加しています。

これだけは覚えておいて



人間はいつだって支え合って生きていくの

その日は、ジュリアの11歳の誕生日でした。友だちや家族が集まって、楽しいパーティーが今まさに始まろうとした、その瞬間。家の外から轟音が響き渡りました。近くの化学工場が爆発したのです。

上空を灰色の煙が覆い、白い微粒子が一面に飛び散ります。せき込んだり、頭痛を訴える人々。そして、数日後、マリアが飼っていた犬が苦しみ始めます。獣医に診せにいくと、そこは犬や猫を連れ戻した人々でごった返していました。



「白い粉のせいかしら」人々の間に不安が広がる中、工場側は、「大きな心配はない」、と安全宣言を発表。でも、飼っていた鶏が死んでいたり、道のいたるところに犬が倒れていたり・・・と、何かがおかしい! そこでジュリアは、友だちと「セブソ少年探偵団」をつくり、原因解明に乗り出します。事故のことを調べに来た日本人ジャーナリスト安藤を仲間に加わって、探偵団の調査は進んでいきます。そこで少年少女が知ったことは、たった一グラムで83万匹ものモルモットを殺してしまうダイオキシンが、爆発事故によって、周辺の地域に放出されていた、という恐ろしい事実でした。

「わたし達の未来は、わたし達の手で守るのよ!」

未来を見つめたジュリアたちの闘いが始まりました。美しい地球の未来のために・・・。

<http://www3.justnet.ne.jp/~mankaifuji/>

8/18(土)より 8/31(金)まで  
モーニングロードショー

(朝1回のみ上映)

池袋駅西口・東武隣接・メトロポリタンプラザ8F

シネ・リーブル池袋  
CINE LIBRE IKEBUKURO

03 (3590) 2126



特別鑑賞券発売中!!

大人・学生共通券1,300円/子供券800円

(当日料金)大人1,800円/大・高生1,500円/3歳以上中学生まで1,000円の処(税込)

子供会等の団体鑑賞も承っております!!

【お問い合わせ】映画「ダイオキシン」製作委員会 TEL.042(396)7815